

ZANDEN Model 120 の展開(74) ーベートーヴェンを聴き直す(9)ー

1. 始めに

前報(73)に引き続き、これまで聴いてきたベートーヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベートーヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベートーヴェンのピアノソナタの下記を選定しました。

LONDON CS 6366

Sonata No.12 in A Flat op.26

Sonata No.18 in E Flat op.31 No.3

Wilhelm Bachhaus

LONDON SLC 1311 (キングレコード)

Sonata No.12 in A Flat op.26

Sonata No.18 in E Flat op.31 No.3

Wilhelm Bachhaus

上記は下記で報告しています。

[アナログ再構成後の活用\(23\)](#)

[アナログ再構成後の活用\(24\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

LONDON 盤 は DECCA、逆相、第 4 時定数 Mid で、LONDON 盤 (キングレコード) は、TELDEC、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

LONDON CS 6366 盤と LONDON SLC 1311 (キングレコード) は、同じく Sonata No.12 と Sonata No.18 の曲でともに Bachhaus の演奏です。

これら Sonata No.12 と Sonata No.18 は、ともに Bachhaus の構成のがっちりした、力強い演奏で、Sonata No.12 の 3 楽章など、重々しく荘厳な感じがでています。

LONDON CS 6366 盤と LONDON SLC 1311 (キングレコード) の音質を比べると、DECCA と TELDEC のそれぞれのカーブの特徴が若干あるようで、両者を比べると前者は切れ込みがよく、後者は重量感があるように聴き取れます。

4. まとめ

前回の試聴以降、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上